(財)財務会計基準機構会員

平成 21 年３月 19 日

各　位

上場会社名　ヤマハ株式会社
代表者　代表取締役社長　梅村　充
（コード番号　7951）
問合せ先責任者　経理・財務部長　梅田　史生
（TEL　053-460-2141）

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 2 月 3 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）	465,000	11,500	9,500	△2,000	△10.06
今回発表予想（Ｂ）	465,000	11,500	9,500	△23,000	△115.72
増減額（Ｂ－Ａ）	―	―	―	△21,000	―
増減率（%）	―	―	―	―	―
（ご参考）前期実績 （平成 20 年３月期）	548,754	32,845	32,584	39,558	191.76

修正の理由

平成 21 年３月期通期の連結業績予想に関し、今後の収益改善に向けた事業構造改革の実施に係る費用および経済環境の変化を踏まえた固定資産の減損等の評価損失を特別損失として見込んだことにより、上記の通り修正を行いました。

今回新たに見込んだ特別損失は以下の通りです。

・事業構造改革費用 47 億円

海外のピアノ製造子会社２社の解散および子会社のマグネシウム成型部品事業の撤退などに係る費用を見込んでおります。

-海外のピアノ製造子会社２社の解散に係る費用　18 億円
-子会社のマグネシウム成型部品事業の撤退に係る費用　８億円
-半導体シリコンマイクの事業化断念に係る費用　６億円
-欧州物流拠点再編に係る費用　15 億円

・固定資産の減損損失 156 億円

現在の事業環境および今後の見通しを勘案した結果、保有する使用資産の減損損失 99 億円、連結子会社に係るのれんの減損損失 57 億円を固定資産の減損損失として見込んでおります。

-半導体事業に係る固定資産 60 億円
-レクリェーション事業（葛城）に係る固定資産 39 億円
-のれん（NEXO）52 億円
-のれん（スタインバーグ）　５億円

・関係会社出資持分評価損 33 億円

関係会社の財政状態の見通しに基づいた評価損失を見込んでおります。

-ベーゼンドルファー 24 億円
-ヤマハミュージックロシア　９億円

（注）　上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上